



市立博物館近くの本町田遺跡公園には実際の住居跡に縄文・弥生住居が再現されている。本町田3455-36他 9:00~16:30 月休

町田で発見された最古の石器は境川付近(木曾東)で発掘され、2万3千年前の旧石器時代のものとされる。縄文時代の遺跡も900近くあり、東京23区と三多摩の中では最多。古代から生活地だったことの証だ。



町田市最古の石器は長さ12cmのメソリ

# 01

## 太古の昔から

### 生活地だった町田



縄文…高ヶ坂、本町田、木曾などに集落があったと推定されている

弥生…

古墳…

奈良…

平安…

鎌倉…

南北朝…

足利尊氏の弟・直義と北条時行の軍が井出の沢で戦って衝突した。



1. 西谷戸横穴墓群は7世紀頃の墓群で都指定史跡。墓に横穴を掘り、遺体を葬ったもの。三輪塚山1-25-8 2. 縄文後期中頃から晩期中頃に制作された田端環状石遺構は、都指定史跡で都内で唯一見学可能なストーンサークル。小山町3112-2

# 02

## 平安時代から鎌倉時代の町田

平安時代、勢力を持っていた小山田氏は小山・相原を除く市域を小山田荘とし、その後、鎌倉時代に入ると小山田城(現・大泉寺)を居館とした。

また、市域には鎌倉幕府へ向かう鎌倉街道が整備され、中でも上野国(群馬県)へ続く上道は源頼朝や義経、日蓮や西行も往来したとされる。新田義貞が幕府を滅ぼそうと進軍、途中で休息した鎌倉井戸や鞍掛の松などの史跡も残る。鎌倉街道以外にも多くの遺跡群が残る野津田や小野路は歴史遺産の宝庫なのだ。



1. 小山田城があったとされる大泉寺は市内屈指の名刹 2. 七国山自然を考える会により往時の状態が保全されている七国山の鎌倉古道 3. 新田義貞が北条家との戦いに大勝利し、鎌倉入りの途中で軍勢を休め、馬の鞍を松に掛けたことに由来する鞍掛の松公園 4. 中先代の乱で足利尊氏の弟直義と北条時行の軍が戦った井出の沢古戦場の石碑

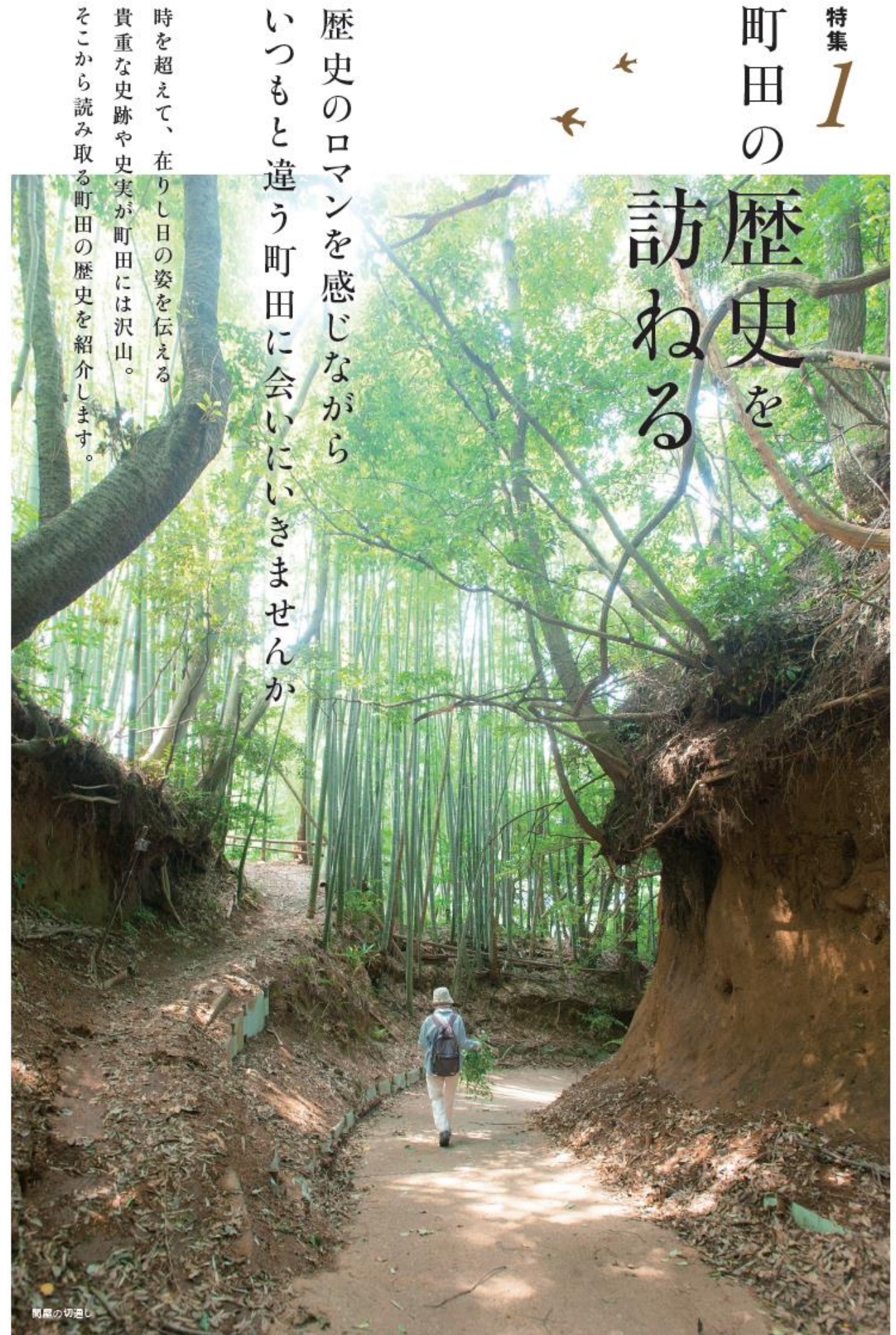


大泉寺 下小山田町332 鞍掛の松公園 西成瀬1-2-19 井出の沢古戦場跡 本町田802



HISTORY

協力 町田市立自由民権資料館 写真提供 藤井寛也



特集 1

# 町田の歴史を訪ねる

歴史のロマンを感じながらいつもと違う町田に会いにいきませんか

時を超えて、在りし日の姿を伝える貴重な史跡や史実が町田には沢山。そこから読み取る町田の歴史を紹介します。

町田の切通し